

あなたも狙われている

緊急特集

電話一本で巧妙にお金をだまし取る「振り込め詐欺」。
毎日のように報道され、注意を呼びかけても、被害は減るところか増え続けている。誰もが犯罪の標的になりうる時代。自分や家族を守るために、考えなければいけないことがある。

**「振り込め詐欺」とは
4つの詐欺の総称です。**

- オレオレ詐欺
親族、警察官、弁護士などを装って電話をかけ、現金を振り込ませようとしています。被害者の約6割は60歳以上の女性です。
- 架空請求詐欺
アダルトサイトなどの利用料金など、架空の事実で請求書を送付し振り込ませようとしています。30歳代以下の被害が約3割。
- 融資保証金詐欺
低金利や有利な条件を提示し、融資を申し込んだ人に保証金などを名目に現金を振り込ませませす。
- 還付金等詐欺
税金や医療費の還付があるとATMに誘導し、操作を指示して現金を振り込ませませす。

■内浦地区

3月16日(月)からごみの収集日程が変わります。
内浦クリーンセンター休止のため、3月16日(月)からごみの収集日程が大きく変わります。ごみを出すときは、各世帯に配布した【ごみ・資源収集カレンダー】の日にちと集めるごみの種類を確認してください。

平成21年度以降	
もやせる	週2回(月・金)
布・ひも類	月1回(第3水)
新聞・紙パック	月2回(第1・3火)
ダンボール	月1回(第4木)
その他紙	月2回(第2・4木)
もやせない	月1回(第1水)
埋立ごみ	月1回(第1木)
有害ごみ	約3カ月に1回(第5火)
空き缶	月1回(第2木)
ペットボトル	月1回(第3木)
空きびん	月1回 第2火(松波・不動寺) 第4火(小木・白丸・秋吉)

※粗大ごみは奥能登クリーンセンター(上町)への自己搬入となります。必ず電話をしてから搬入してください。
(☎62-8222)

■能都地区

4月1日から『新聞』『紙パック』『その他紙』の収集回数が月2回に変更になります。

■柳田地区

4月1日から『金属物』の名称が『もやせない』に変わります。



4月1日から、ブラウン管テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機に加えて、液晶・プラズマテレビ、衣類乾燥機もメーカーによって回収・リサイクルされます。販売店にご相談ください。

※各世帯に配布した【ごみ・資源収集カレンダー】を確認してください。
※町内会から配布されない世帯や事業所などで【ごみ・資源収集カレンダー】が必要な場合は、各庁舎・支所・出張所でお受け取りください。

ごみ・資源に関するお問い合わせは
環境対策課 ☎62-8507 まで
ごみ・資源は8時30分までにお願いします!

ごみ収集日などが 変わります。

○ごみの分別・収集・リサイクルに
皆さんのご協力をお願いします。

増え続ける被害。 悪質な無差別詐欺を絶対に許すな。

人間の心理につけこむ卑劣な振り込み詐欺。その被害状況や対策について田渡茂署長に聞いた。



家族や地域のきずなを強めることが「振り込み詐欺」の被害を防ぐ。

田渡 茂 能登警察署長

石川県で1億5千万円の被害が
石川県では昨年一年間で160件、1億5千万円以上の被害がありました。能登町でも2件、架空請求詐欺と融資保証金詐欺が発生しています。もはや「田舎だから大丈夫」という時代は終わり、都会の犯罪が身近な所で発生する時代になったと言えます。



年金支給日でもある2月13日、被害防止キャンペーンが石川県下一斉に実施された。能登町内でも8カ所のATMで注意を呼びかけた。

家族の間が狙われている

振り込み詐欺という犯罪は、現代の世相を反映しています。近年は核家族化などで集まって団らんすることも減り、家族のきずなが薄れていきます。オレオレ詐欺は、もろくなつた家族のきずなを狙っているのです。特に能登はオレオレ詐欺の比率が高い。「能登はやさしや土までも」といわれる人情が、逆手に取られて

狙われているのです。

オレオレ詐欺は息子や孫を装って銀行の閉店間際などの慌てる時間帯に、緊急事態を装って狙ってきます。たとえ息子や孫でも電話一本で何十万円も振り込んではいけません。汗水流して得た大切なお金です。渡すにしても直接顔を見て渡すべきです。もし本当に緊急事態であったと

しても、お金が先ではなく、その問題を解決しようと一緒に考えてあげることが大切なのです。

お金の話が出たら詐欺を疑う

電話でお金の話が出たら、「振り込み詐欺じゃないか」と疑ってください。怪しいと思ったら電話を切ってください。相手はだますトレーニングを積み悪知恵にたけています。一人でかなう相手ではないので、決して一人で判断せずに誰かに相談してください。

この4つの「しない」を頭に入れて、落ち着いて対応することができれば、絶対に振り込み詐欺の被害に遭いません。

家族のきずな、地域のきずなを見直し、警察・役場・防犯委員などの連携を強化して、能登町から振り込み詐欺の犯罪を撃退しなければなりません。

石川県内の振り込み詐欺認知件数・被害額 石川県警ホームページ資料

種別	平成19年		平成20年		増減		
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	
オレオレ詐欺	13	23,455,000	18	45,584,000	5	22,129,000	
架空請求詐欺	身辺調査結果買取						
	債権回収	4	4,354,000	3	3,129,618	△1	△1,224,382
	有料サイト利用料	16	11,662,761	37	24,654,065	21	12,991,304
	その他	10	5,065,000	12	10,666,900	2	5,601,900
	合計	30	21,081,761	52	38,450,583	22	17,368,822
融資保証金詐欺	50	47,933,363	52	35,691,353	2	△12,242,010	
還付金等詐欺	9	7,885,230	38	37,875,120	29	29,989,890	
合計	102	100,355,354	160	157,601,056	58	57,245,702	

全国の被害・検挙状況 警察庁ホームページ資料

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数(既遂)	20,194	19,840	18,662	17,671	20,124
被害額	283億7千万円	251億5千万円	254億9千万円	251億4千万円	275億9千万円
検挙件数	1,305	2,539	2,974	3,079	4,400
検挙人員	548	819	761	454	699

4つの「しない」を守る

能登警察署は、被害防止のために出前講座で老人会の皆さんに話をしたり、年金支給日のATM警戒、有線テレビや防災無線など役場と連携した広報などを行っています。そして独自に「振り込み4ない作戦」と名付けた運動を展開しています。

①お金を振り込まない

振り込む前に相談を

能登警察署 ☎ 62-1334

- 鵜川駐在所 ☎ 67-2200
- 瑞穂駐在所 ☎ 67-2120
- 鶴町駐在所 ☎ 62-0683
- 縄文真脇駐在所 ☎ 62-0090
- 柳田駐在所 ☎ 76-0059
- 当目駐在所 ☎ 76-0630
- 松波駐在所 ☎ 72-0014
- 不動寺駐在所 ☎ 72-0632
- 小木駐在所 ☎ 74-0019

県警相談窓口 ☎ # 9110 (プッシュ回線・携帯電話)

※ナンバーディスプレイ…対応した電話機に着信した相手の電話番号を表示するサービス。

ますます巧妙化する手口。 あなたは自分や家族を守れるか。

誰もが詐欺の標的になりうる時代。家族や地域全体で防犯の知識と意識を高めることが大切だ。

※すべて石川県内で発生した事例です。

すぐに振り込まないで、相談や確認を(オレオレ)

【事前に携帯電話番号の登録を変更させたオレオレ詐欺事例】

60歳代男性が息子を名乗る男から「かばんを落としたので携帯電話の番号が変わった」との電話を受けた。翌日、登録変更した電話番号の息子を名乗る男から「会社関係の現金の振り替えをしなくてはならないが、カードもなくしているので代わりに

振り替えてほしい」という電話を受けた。

その指示に従い、コンビニのATMから50万円ずつ2回にわたり振り込んだ。さらに「先輩に借りた金を返さなければならぬ」との電話から、その後20数回にわたって現金を振り込んで、総額1400万円をだまし取られた。

覚えのない請求は振り込みも連絡も無用(架空請求)

【エクスパックで郵送させようとした架空請求詐欺未遂事例】

20歳代女性が携帯電話のメールで「サイト利用の未納料金がある。連絡がない場合は法的処理に入る」と

いう架空のサイト利用料金を請求された。振り込みではなく、定形小包「エクスパック500」で現金6万円を送金するよう指示され、だまし取られそうになった。

保証金を要求されたら警察に相談を(融資保証金)

【融資会社を名乗り保証金をだまし取られた事例】

30歳代女性が携帯電話のインターネットで100万円の融資を申し込み「5割の保証金が必要」と言われて、ATMから5万円を振り込んだ。その後「データ費用が必要」など

の電話を受け、合計16万円をだまし取られた。
※最近では保証金の代わりに「本人確認のためのクレジットカードの送付」を要求され、送付するとクレジットカードが使用されたという事例も発生しています。

ATMでお金が還付されることはない(還付金等)

【医療費の払い戻しをかたった還付金詐欺事例】

60歳代女性が社会保険事務所の職員を名乗る男から、電話で「医療費の払い戻しがある。窓口で手続きはできないので、ATMに行つてほしい」と指示された。携帯電話で指示

を受けATMを操作し、約55万円をだまし取られた。

※今後、「定額給付金」事業で同種手口の発生が懸念されます。役場や総務省などがATMの操作や手数料の振り込みを求めることは絶対ありません。(18ページに関連)

INTER VIEW



興能信用金庫
総合企画部
井上聖治さん

振り込む金額、振込先などに注意し、声かけをしています。

どの金融機関も「お客さんのお金を守り、被害に遭わせたくない」という強い意識を持っています。興能信用金庫では①多額の振り込み②振込先がカタカナ③態度が普段とは違う—という場合に全営業店窓口で必ず声かけをしています。実際に被害を防いだケースもあり、これからも声をかけて注意喚起することで、被害が1件でも減るよう職員一丸となって取り組みます。



松波地区
防犯委員長
浜田実さん

家族のコミュニケーションを取ることが予防につながる。

オレオレ詐欺を防ぐには、家族のコミュニケーションを取ることが一番です。普段から子どもや孫に電話をかけて、声や方言などのしゃべり方を覚えていけば、おかしいと気付くはず。松波地区防犯委員会としても、今後は老人会に出向いて話をしたり、民生委員の皆さんとも連携しながら高齢者に声かけをしていき、地域から被害が出ないようにしていきたいです。



岩井戸地区
防犯委員長
八田義造さん

地域のつながりを強くすることが、被害を未然に防ぐ。

岩井戸地区は、高齢者世帯の多い地域ですが、最近は地域の人が集まる機会も減り、地域のつながりが昔に比べて弱くなったように感じます。分かっているつもりでも、いざ自分に電話がかかると気が動転してしまうのが「振り込み詐欺」です。地域のつながりを見つめ直し、普段から話し合いや情報交換をすることで、被害を未然に防ぐことができます。



鶴川地区
防犯委員長
石田正栄さん

一人一人が被害に遭わないよう注意するしかない。

鶴川地区防犯委員会は、今年度の重点目標を「振り込み詐欺防止」と決め、チラシを配ったり、金融機関に協力をお願いしたりとさまざまな活動を行ってきました。「振り込み詐欺」の一番の予防策は、一人一人が注意することです。高齢者の世帯にもチラシを持って回りましたが、1回だけではなく、何回でも回って根気よく呼びかけていきたいと考えています。

取材を終えて

「自分は大丈夫」 「まさか自分が」 油断が後悔に 変わる前に—

「能登町で振り込め被害」
この特集の取材編集中だった2月18日付けの新聞各紙に、融資保証金詐欺が能登町で発生したとの報道があった。100万円の融資を申し込み保証金をATMから振り込む典型的な融資保証金詐欺だった。

振り込め詐欺の犯人は、無差別に電話をかけ、はがきを送る。そして反応があった相手を集中的に攻撃し巧妙にだます。テレビ番組のインタビューで「職業は詐欺師」と話し「詐欺はビジネス」とまで言い切る。

犯罪は社会を映す鏡だといわれる。この振り込め詐欺という犯罪が映している社会は、家族や地域のつながりが弱くなり、お金が最優先という金銭第一主義がはびこる社会なのではないだろうか。

被害にあったほとんどの人は、振り込め詐欺を知っているがだまされてしまう。「自分は絶対に大丈夫」という油断が犯人につけられ、「まさか自分が」という後悔に変わってしまう。

自分や家族が犯罪の標的になる時代。もう一度家族のきずなと地域のつながりを見つめ直し、犯罪に遭わない家庭、巻き込まれない地域づくりを急がなければならない。人の心理につけ込む、卑劣な振り込め詐欺を絶対に許すな。